

被災建築物応急危険度判定について

(判定までの流れ・注意事項・木造調査票作成要領)

判定員向け

目黒区都市整備部建築課

判定までの流れ



注意事項等【1】

1 判定対象

- ・ 住宅とし、併用住宅・共同住宅を含みます。敷地内の車庫などの付属建物は対象としません。
ただし、必要に応じ隣接建築物としての影響を考慮してください。
- ・ 公営住宅や企業の社宅等は対象外です。
- ・ 高層集合住宅は、10階建又は高さ30m以下を対象とします。

注意事項等【2】

2 判定における注意事項

- ・ 判定作業は、危険な場所に近づかない等、無理な活動はしないでください。
- ・ 判定は、調査票に基づき、客観的に実施してください。
- ・ 外観調査のみをお願いします。なお、住民から内部調査を依頼されたときは、「被害が大きく、1件の調査に時間を割けない」旨を説明して極力お断りしてください。
- ・ RC造かSRC造か判断できない場合は、8階建以上はSRC造としてください。
- ・ 判定は最も損傷度の大きな階を対象としてください。
- ・ 住民から質問があった場合は、応急危険度判定手帳を参考にするなど、誠実に対応し、依頼については記録してください。
- ・ 現地で判定以外の業務を求められた場合、丁寧にお断りし、速やかにその場を離れてください。
- ・ S造を判定する際はアスベストに注意し、適時マスクを着用してください。

調査表（木造） 記入方法

木造建築物の応急危険度判定調査表

集計欄は数字で記入

本

整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分 調査回数 _____ 回目

調査者氏名（都道府県／No） _____

建築物概要

1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____

2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地図整理番号 _____

3 建築物用途 1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所
7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場・遊戯場等 16.その他（ ）

4 構造形式 1.在来軸組構法 2.枠組(壁)構法(ハイハイ) 3.プレファブ 4.その他（ ）

5 階数 1.平屋 2.2階建て 3.その他（ ）

6 建築物規模 1.階寸法 約 _____ m × _____ m 2.その他（ ）

調査 調査方法：①外観調査のみ実施 ②内観調査も併せて実施

1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

2 建築物全体又は一部の崩壊・落階

3 建築物全体又は一部の著しい傾斜

4 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ

5 その他（ ）

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤の状況による危険	1.危険無し	2.不明確	3.危険あり
②構造躯体の下部肉下	1.無し又は軽微	2.著しい所、懸垂の落ち下り等あり	3.小規模の破壊、床全体の沈下
③基礎の被害	1.無被害	2.部分的	3.著しい(破壊あり)
④建築物の1階の傾斜	1.1/100以下	2.1/50以下	3.1/20超
⑤壁の被害	1.軽微なひび割れ	2.大きな亀裂、剥離	3.落下の危険あり
⑥屋根・屋根の被害	1.ほとんど無し	2.一部の断片欠損	3.著しい断片欠損
危険度の判定	1.調査済み 全館Aランクの場合(※内観調査)	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合

3 地下空間・配管・配線に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①瓦	1.ほとんど無被害	2.著しいずれ、破損	3.全面的にずれ、破損
②窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険あり
③外壁材 漆喰の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、剥離	3.顕著なひび割れ、剥離
④外壁材 板状の場合	1.目地の亀裂・剥離	2.板に隙間が及ぶ	3.顕著な目地ずれ、剥離
⑤屋根・屋根材	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.顕著な傾斜
⑥その他	1.安全	2.要注意	3.危険
危険度の判定	1.調査済み 全館Aランクの場合	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済 (緑) 2. 要注意 (黄) 3. 危険 (赤)

コメント(構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

コメントは判定ステッカーの表記と同じとする。

調査票（木造）

イ部分（概要および一見して危険）の説明

木造建築物の応急危険度判定調査表

集計欄は数字で記入

木

整理番号 **① 上目黒2-19-15** 調査日時 **② 8** 月 **2** 日 午前・午後 **③ 10** 時 _____ 分 調査回数 _____ 回目

調査者氏名（都道府県／No） **④ 0802 A-1** (**⑤ 省略可** / **⑥ 省略可**) **⑦ ↑1回目は未記入**

建築物概要

1 建築物名称 **⑧ 目黒区役所邸** 1.1 建築物番号 **⑨ 15-A**

2 建築物所在地 **⑩ 上目黒2-19-15** 2.1 住宅地図整理番号 **⑪ 17**

3 建築物用途 **⑫ 1**戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所
7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場・遊戯場等 16.その他（ ）

4 構造形式 **⑬ 1**在来軸組構法 2.枠組(壁)構法(ハイハイ) 3.プレファブ 4.その他（ ）

5 階数 **⑭ 1**平屋 **⑮ 2**2階建て 3.その他（ ）

6 建築物規模 1.階寸法 約 **⑯ 7.2** m × **⑰ 9.0** m 2.その他（ ）

調査 調査方法：①外観調査のみ実施 ②内観調査も併せて実施

1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

2 建築物全体又は一部の崩壊・落階

3 建築物全体又は一部の著しい傾斜

4 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ

5 その他（ ）

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済 (緑) 2. 要注意 (黄) 3. 危険 (赤)

コメント(構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

コメントは判定ステッカーの表記と同じとする。

⑭一見して危険と判定される場合



【1】

←地下車庫併用住宅の層崩壊



【2】

1 階の層崩壊→

【1】【2】 出典：（財）日本建築防災協会・全国被災建築物応急危険度判定協議会 発行
「被災建築物応急危険度判定マニュアル」（1998.2.26） P.19

調査票（木造）

イ部分（概要および一見して危険）の説明

木造建築物の応急危険度判定調査表				⑮ 集計欄は数字で記入 木		
① 整理番号	上目黒2-19-15	② 調査日時	8 月 2 日 午前・午後 10 時	③ 調査回数	1 回目	⑮ 整理番号 上目黒 2-19-15
調査者氏名（都道府県／No）	0802 A-1	（省略可）	（省略可）	④（↑日付＋チーム）	（省略可）	↑1回目は未記入
建築物概要						建築物番号
1 建築物名称	⑤ 目黒区役所邸	1.1 建築物番号	⑥ 15-A			15-A
2 建築物所在地	⑦ 上目黒2-19-15	2.1 住宅地図整理番号	⑧ 17			17
3 建築物用途	① 戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所					3 1
	⑨ 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場					4 1
⑩ 4 構造形式	① 在来軸組構法 2.枠組(壁)構法(ワベイテ) 3.プレファブ 4.その他 ()					5 2 階
⑪ 5 階数	1.平屋 ② 2階建て 3.その他 ()					ア 7.2 m
⑫ 6 建築物規模	1階寸法 約 7.2 m × 9.0 m					イ 9.0 m
⑬ 調査 調査方法：① 外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施						調査方法
1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)						1 1
① 建築物全体又は一部の崩壊・落階		⑭ 2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ				
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜		4. その他 ()				

調査票（木造）

口部分（構造躯体等）の説明

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険無し	2. 不明確	3. 危険あり
②構造躯体の不同沈下	1. 無し又は軽微	2. 著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3. 小屋組の破壊、床全体の沈下
③基礎の被害	1. 無被害	2. 部分的	3. 著しい（破壊あり）
④建築物の1階の傾斜	1. 1/60 以下	2. 1/60～1/20	3. 1/20 超
⑤壁の被害	1. 軽微なひび割れ	2. 大きな亀裂、剥落	3. 落下の危険有り
⑥腐食・蟻害の有無	1. ほとんど無し	2. 一部の断面欠損	3. 著しい断面欠損
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合（要内視調査）	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合

⑧

①

②

③

④

⑤

⑥

判定

①隣接建築物により危険



隣家が倒れ掛かってきている

調査対象建物

調査票（木造）

□部分（構造躯体等）の説明

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険無し	2. 不明確	③ 危険あり
②構造躯体の不同沈下	1. 無し又は軽微	2. 著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3. 小屋組の破壊、床全体の沈下
③基礎の被害	1. 無被害	2. 部分的	3. 著しい（破壊あり）
④建築物の1階の傾斜	1. 1/60 以下	2. 1/60～1/20	3. 1/20 超
⑤壁の被害	1. 軽微なひび割れ	2. 大きな亀裂、剥落	3. 落下の危険有り
⑥腐食・蟻害の有無	1. ほとんど無し	2. 一部の断面欠損	3. 著しい断面欠損
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合（要内視調査）	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合

⑧

①

②

③

④

⑤

⑥

判定

②構造躯体の不同沈下



【3】

不同沈下の例（Bランク）
著しい屋根の落ち込み



【4】

不同沈下の例（Cランク）
2階、小屋組みの破壊

調査票（木造）

口部分（構造躯体等）の説明

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険無し	2. 不明確	③ 危険あり
②構造躯体の不同沈下	1. 無し又は軽微	② 著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3. 小屋組の破壊、床全体の沈下
③基礎の被害	① 無被害	2. 部分的 $20 < d \leq 60$	3. 著しい（破壊あり）
④建築物の1階の傾斜	1. 1/60 以下 $\leq 20\text{mm}$	2. 1/60～1/20	③ 1/20 超 $60\text{mm} < d$
⑤壁の被害	1. 軽微なひび割れ	2. 大きな亀裂、剥落	3. 落下の危険有り
⑥腐食・蟻害の有無	1. ほとんど無し	2. 一部の断面欠損	3. 著しい断面欠損
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合（要内視調査）	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合

⑧

①

②

③

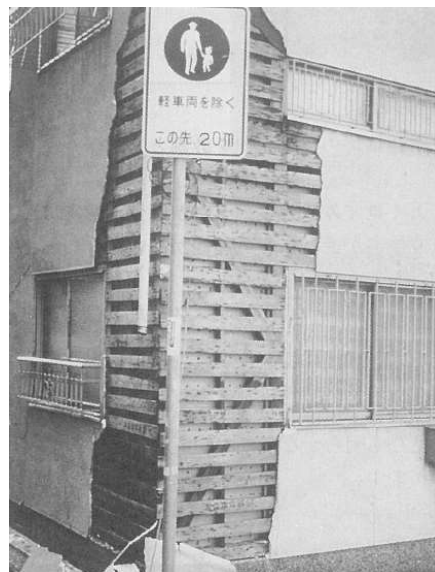
④

⑤

⑥

判定

⑤壁の被害



【5】

壁の被害の例（Bランク）



【6】

壁の被害の例（Cランク）

調査票（木造）

ロ部分（構造躯体等）の説明

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険無し ※がけの崩壊などもここで評価する。	2. 不明確	③ 危険あり
②構造躯体の不同沈下	1. 無し又は軽微	② 著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3. 小屋組の破壊、床全体の沈下
③基礎の被害	① 無被害	2. 部分的 $20 < d \leq 60$	3. 著しい（破壊あり）
④建築物の1階の傾斜	1. 1/60 以下 $\leq 20\text{mm}$	2. 1/60～1/20	③ 1/20 超 $60\text{mm} < d$
⑤壁の被害	① 軽微なひび割れ	2. 大きな亀裂、剥落	3. 落下の危険有り
⑥腐食・蟻害の有無	① ほとんど無し	2. 一部の断面欠損	3. 著しい断面欠損
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合（要内視調査）	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	③ 危険 Cランクが1以上ある場合

⑧

① 3

② 2

③ 1

④ 3

⑤ 1

⑥ 1

判定 3

調査票（木造）

ハ部分（その他の危険物）の説明

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①瓦	① ほとんど無被害	2. 著しいずれ	3. 全面的にずれ、破損
②窓枠・窓ガラス	① ほとんど無被害	2. 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険有り
③外装材 湿式の場合	① ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離
④外装材 乾式の場合	① 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 顕著な目地ずれ、板破壊
⑤看板・機器類	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	③ 落下の危険有り
⑥屋外看板	① 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜
⑦その他	1. 安全	2. 要注意	3. 危険
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合

⑪

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

判定

総合判定（調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。）

⑨

1. 調査済（緑） 2. 要注意（黄） 3. 危険（赤）

総合判定

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）

⑩

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。



←
大谷石（組積造）の塀が倒壊しているが、これ以上倒壊する危険がない ⇒ Aランク



→
コンクリートブロック造の塀が大きく傾斜し、倒壊の危険がある
⇒ Cランク

※Cランクの原因がこれだけの場合、コメント欄にその旨を記入

【7】

【7】 出典：（財）日本建築防災協会・全国被災建築物応急危険度判定協議会発行
「被災建築物応急危険度判定マニュアル」（1998.2.26） P.33

調査票（木造） ハ部分（その他の危険物）の説明

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①瓦	① ほとんど無被害	2. 著しいずれ	3. 全面的にずれ、破損
②窓枠・窓ガラス	① ほとんど無被害	2. 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険有り
③外装材 湿式の場合	① ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離
④外装材 乾式の場合	① 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 顕著な目地ずれ、板破壊
⑤看板・機器類	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	③ 落下の危険有り
⑥屋外看板	① 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜
⑦その他（CB塀）	1. 安全	② 要注意	3. 危険
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	③ 危険 Cランクが1以上ある場合

⑪	1
①	1
②	1
③	1
④	1
⑤	3
⑥	1
⑦	2
判定	3

総合判定（調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。）

⑨
1. 調査済（緑） 2. 要注意（黄） ③ 危険（赤）

総合判定
3

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）

- ⑩
- ・建築物が傾斜しており倒壊の危険があります（傾斜1/20超）
 - ・コンクリートブロック塀が傾いており要注意

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

応急危険度判定結果

※A3～A4に縮小
※白黒印刷

危険

UNSAFE

- ◆この建築物に立ち入ることは危険です
- ◆立ち入る場合は専門家に相談し、応急措置を行った後にして下さい

建築物名称 住宅地団の名称 目黒区役所邸

注記：構造躯体など
落下物など

- ・建築物が傾斜しており倒壊の危険があります（傾斜1/20超）
- ・コンクリートブロック塀が傾いており要注意

この判定は、家屋の被害程度（全壊・半壊等）を表す被災証明のためのものではありません。
（※被災証明書が必要な方は市町村にお問い合わせ下さい）

整理番号 上目黒2-19-15

判定日時 8月2日 午前・午後 10時現在

目黒区

災害対策本部

電話 03-5722-9647

東京都

判定結果の記入

- 調査票と同じ内容を記載
- 記入する内容
 - ・ 建築物名称
 - ・ 該当する調査結果に○
 - ・ コメント
 - ・ 整理番号（住所）
 - ・ 判定日時
 - ・ 判定本部の電話番号
- 見やすい位置に貼ってください

S造、RC造の調査票記入方法について

一般財団法人 日本建築防災協会のYouTube動画をご覧ください。

「応急危険度判定マニュアル」の動画の中で木造以外に、S造・RC造についても解説されています。



YouTube動画
「応急危険度判定調査の流れ」



YouTube動画
「応急危険度判定マニュアル」

登録事項の変更

※判定員の登録事項の変更連絡先は下記のとおりです。

東京都防災ボランティア（被災建築物応急危険度判定）事務局
有限会社オフィス・ラサ 防災ボランティア係

〒142-0063 東京都品川区荏原3-8-14-304

TEL 03-3788-7361 FAX 03-3788-4604

MAIL : tokyo-hantei2024@officeraza.com

ホームページ : <https://tabimap.biz/risk-level-judge/>

郵送もしくはwebによる申請が可能です。
詳しくは、ホームページをご覧ください。



最後までご視聴いただきありがとうございました。